

令和4年度上半期

学校関係者評価委員会報告書

評価対象期間

自：令和4年4月

至：令和4年9月

作成日：令和4年12月22日

学校法人菊武学園

専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

学校法人菊武学園 専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 学校関係者評価委員会は平成3年度(2021年度)上半期自己評価報告書に基づいて学校関係者評価委員会を実施致しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 日 時：令和4年12月15日(木) 10時～12時

2. 場 所：本校4階ブライダルサロン

3. 出席者：学校関係者：

榊原 哲夫(ブライダル業界関係者)

井上 幸信(フラワー業界関係者)

天野 民子(ビューティ業界関係者)

梶原 幹史(有識者/元高校教員)

後藤 潤 (卒業生/同窓会長)

学内委員：

中川 信子(校長)

森田 武志(学事課長補佐)

鈴木 順子(事務課長)

欠席者：なし

4. 配布資料：令和4年度上半期自己評価報告書

募集活動・就職活動等報告書

「建学の精神」 「学校理念」 「学校目的」 「育成人材像」

学校法人菊武学園 建学の精神

本学園の建学の精神は「職業教育をととして社会で活躍できる人材の育成」であり、本校教育の基盤である

学校理念

「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」

学校目的

豊かな感性、高い道德心、たくましい心身を持って、地域社会において信頼される人間、かつ、自分の一生において果たすべき役割を自覚し、進むべき道を主体的に切り開く人間の育成

育成人材像

1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる
2. ブライダル・フラワー・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている
3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる
4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる
5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1	やや不適切 = 2	不適切 = 1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか	④	3	2	1
学科の教育目標・人材育成像は、業界のニーズに向けて対応しているか	4	③	2	1

○刻々と社会や業界のニーズは変化を遂げている。その行く末を見据えて学校の方向性を決定していくことが求められている。それらのニーズを正確に把握することこそが、学校の社会的信用度を高めることに留意するべきである。

今後に向けての方策

○コロナの影響で、各業界のニーズにも変化が見られる。業界に関する最新の情報・動向を的確に捉え、適切な授業運営及び求められる人材の育成に注力していきたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○「教育理念・目標」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1	やや不適切 = 2	不適切 = 1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

○魅力ある学校の運営を目指し、毎年、運営方針・事業計画を策定している。

○教育活動等に関しては、本校のHPを通して随時発信中。

今後に向けての方策

○教育活動等に関する情報公開に関しては、HPを利用し更新頻度を上げ訴求力ある内容としていきたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○「学校運営」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
各学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
授業評価の実施体制はあるか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
成績評価・履修認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	②	1

○学生による授業評価については、年に2回実施。次年度の授業内容改善に向けての糧となっている。

○資格取得については資格試験直前対策授業を集中的に行い、合格率を高められるよう配慮している。更なる合格率アップを目指したい。

今後に向けての方策

○業界との連携をより密なものとし、魅力ある授業内容としていきたい。

今年度上半期には、各業界の会社訪問をスタートさせたが、継続して行っていきたい。

○校内教職員研修会が十分でない現状である。実施回数を増やしていきたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○2023年度に向けて、新カリキュラムを制作中（該当学科/トータルビューティ科）。就職後に即戦力とされるよう、より実践的な実習授業を増加させた。（学内委員 中川）

○多くの学生は様々なことを情報として手に入れているが、それらの情報を活用していく方法についての理解はまだ不十分である。その点に関して、教員のサポートが必要であると思う。（榊原委員）

○最近の学生は、積極的に教員へ質問することが以前に比べると減ったように感じる。教えてもらうのを待っている、受け身の姿勢でいることが、多々あるように見受けられる。教員はその点に留意し、学生への声掛けを頻繁に行うことが肝要であると感じる。（井上委員）

○何をするのも面倒に感じる、無気力な学生がいる。そのような学生への対応も、担任を中心に行っていただきたい。（天野委員）

○積極性に欠ける学生に対する対応が不十分とならないよう、教職員間の連絡を密にしながら確実に行っていきたい。（学内委員 中川）

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

○就職指導に関しては就職活動が本格化する1年次の冬に向けて、業界研究・履歴書の書き方・就職面接等の指導を丁寧に行っている。

○退学率の低減に向けて、問題を抱える学生への早期対応を実施している。

今後に向けての方策

○早目の就活がスタートできるように、丁寧なサポートを行っていききたい。

○高校在籍時に欠席が多かった学生に対する手厚い指導を、入学直後から行っていききたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○今年度は、昨年度より退学者が若干増えているように思う。退学理由をしっかりと把握し、細やかな対応をお願いしたい。(梶原委員)

○就職に関しては、ブライダルをはじめとするサービス業界において客足が回復してきている。コロナ禍でサービス従事者が減少しており、人手不足の状況にある。この状況はしばらく継続しそうであるため、今後のブライダル業界志望者についても明るい将来の話ができるのではないかと思う。(梶原委員)

○退学防止については、何よりも学生に対する早期の対応が重要である。学生への指導が早期に始められるよう、努力していききたい。(学内委員 中川)

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
進路に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④	3	2	1
学生への経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1

○春に健康診断を実施(全学生・全教職員対象)。また、毎年4月に学生健康調査を実施。これらの結果を踏まえて、卒業までの2年間の学生健康管理を適切に行っている。

○経済的な支援には、日本学生支援機構の奨学金、国の教育ローン(日本政策金融公庫)などがある。本校では、入学時の指定校推薦・公募推薦の高校推薦入試枠に対しての学費減免制度を設けている。更に、特待生選考制度利用による学費減免も用意している。多くの学生が利用している。

今後に向けての方策

○コロナ禍にあって求人内容に変化が見られる業界もある。学生の希望と求人側との適切なマッチングに努めたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○就職活動の動きが遅い学生がいると思われるので、それらの学生に対するより細やかな対応をお願いしたい。
(後藤委員)

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

○施設・設備に関しては、3分野の実習授業で必要となるものを完備。

○学外の実習授業・インターンシップ、海外研修の場等については、関連分野の企業との連携のもとに研修場所を確保している。

○自衛消防組織をつくり、防災に努めている。

今後に向けての方策

○災害に対する意識を高め、発生時に安全を守るための正しい行動が取れるよう指導していきたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○ブライダルビジネス科の学生が多いため、各授業の教室配置に留意し、より良い学習環境の確保を目指してほしい。(梶原委員)

(7) 生徒の受入れ募集

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	4	③	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

○高校訪問時に訪問高校の卒業生の、最近の学校生活での様子・資格取得状況・就職内定状況等についてできる限り丁寧な説明を行っている。このような卒業生に関する報告により、高校との信頼関係を深めている。

○意欲的な学生をサポートするために、学費減免のある高校推薦入試を推奨している。

今年度も、高校推薦入試を希望する学生が多かった。

今後に向けての方策

○本校の教育内容（授業内容・資格取得・就職）についての周知を引き続き図っていきたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- 過去2年間についてはコロナの影響で学生募集環境もかなり厳しかった。しかし今年度は学生募集が好調のよう
で安定的な学生数確保に邁進してほしい。(天野委員)
- 御校のHP上では、Instagram、Twitter やブログ、また今年から TikTok も始められており、SNS での情報発
信に注力されていることがよく分かる。大変だとは思いますが、継続していただきたい。(井上委員)
- 高校生、特に女子校生のスマホを利用する時間が長い。SNS を利用しての情報発信頻度を上げること、また、内
容的にも学校の魅力をしっかり伝えられるものとすることを目指したい。(学校委員 中川)

(8) 財務

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

- 学生生徒等納付金が財務の基盤となる。広報活動内容を常にブラッシュアップしながら積極的に行っている。
- 経費削減に努め、当年度収支差額はプラスを維持。
- 学園本部による内部監査が年2回、公認会計士監査が年3回行われ、適正な会計処理を行っている。学園の財務
情報はHPにて公開されている。

今後に向けての方策

- コロナの影響下にはあるが、OCへの参加者も増加。
OC参加者の歩留まりをより高め、入学生確保を目指したい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

- 「財務」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

- 法令、専修学校設置基準等を遵守し、円滑な学校運営を行っている。
- 個人情報に関しては、学生及び教職員に関する一切の情報の持ち出しを禁止している。
- SNSを利用して広報活動を行う機会が多くある。学生の写真等が掲載される場合には、個人情報保護に留意し
て行っている。
- 自己評価は、2020年より公開し、問題点に関しては教職員で共有している。

今後に向けての方策

○自己評価結果を踏まえて、それを次年度へ確実に活かしてゆく体制を整えていきたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○「法令等の遵守」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

○最近の社会貢献・地域貢献については、以下の通りである。

ブライダルビジネス科・・・本物の結婚式プロデュースの実施（無償）

フラワービジネス科・・・星ヶ丘テラス/ガーデン施工（無償）

トータルビューティ科・・・校内ビューティサロン（1コイン 500円）

今後に向けての方策

○コロナ影響で、外部でのボランティア活動は低調であった。

感染が収まるようであれば、より積極的に課外活動を通して、社会への貢献活動を継続していきたい。

■学校関係者評価委員会コメント・質疑

○「社会貢献・地域貢献」に関しては、評価委員より妥当と評価され、ご意見はありませんでした。